



「伝統の米どころ」

館長 泉森 由貴 (いずもり よしたか)

軒から垂れ下がるつららが滴を落として
います。玄関前にあるメダルの泳ぐ大きな
鉢には厚い氷が張り、童謡「どじょっこふ
なっこ」を思い出させます。

田原の冬を経験すると氷や雪、霧に霜。
水はいろいろな形に変化して生活と共にあ
ることを気づかせてくれます。数十年前、
災害による道路の分断や断水が続いたとき、
水のありがたみを本当に実感したと伺いま
した。井戸水、谷水、貯水池。水を大切に
してきた暮らしが今も息づいています。

晩秋から冬にかけて、所どころで粃殻が
盛られ、真ん中に煙突が立ち、低温でじわ
じわと煙が立ちこめている光景を見かけま
した。粃殻はこのあたりでは摺り糠と言わ
れ、それによって出来上がるのは、燐炭と
呼ばれています。これを畑にまくことで保
水性の向上、酸性の中和、消臭などの効果
があるそうです。思えば稲作には本当に無
駄がないと感心します。茎は藁となり、精
米後の糠は漬けものに使われます。その上
にこの炭化されてできた土壌改良材。人の
生活を支える知恵には感服します。

しかし、主役はやはりコメです。最近
は和のファストフードとして、おにぎりがま
た注目を集めているようです。おにぎりの
みを提供するというお店もあるようで、手

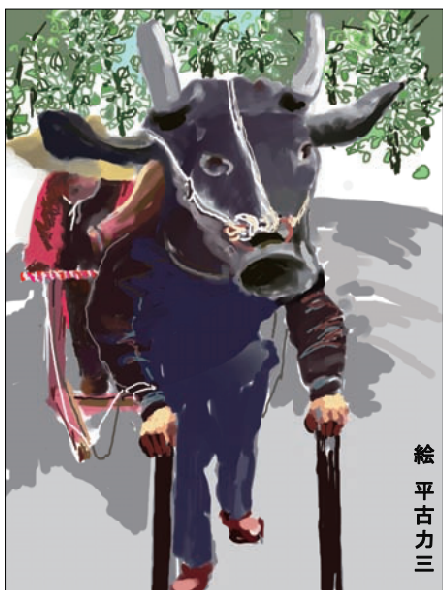
平成29年
3月号



発行人 公益財団法人
奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市若荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

軽に毎日食べても飽きないものとして見直
されているとの話です。

今月、関西有数の米どころである田原で
は今年も「おんだ祭」が行われます。五穀
豊穰を願い、稲に見立てた松葉を奉納する
神事。今年は公民館からほど近い南田原の
天満神社が祭場です。稲作の所作がそのま
ま祭礼となった行事はいかにこの地とコメ
が密接な関係であったことが伺えます。前
述の水とともに田原が守ってきた伝統の文
化です。



絵 平古力三

公民館では家庭教育支援事業としてこの
コメの味を親子で見直そうという講座を企
画中です。昔ながらの薪やシバで、そして
田原の水で飯ごう炊飯し、味わってもらお
うというものです。そこには薪割りの苦労
火おこしの喜び、そして炊きたてご飯の甘
みを感じてもらえるものと思います。コン
ビニおにぎりにはないもの。そんな笑顔に
出会えることを今から楽しみにしています。

半年後が待ち遠しいです
米糍から作る味噌づくり

昨年度に引き続き、田原公民館の名物講
座になった米糍味噌作り。1月19日は、も
やしとよばれる糍菌の元を蒸し上がったう
るち米に混ぜ、寝かせて発酵させるまでの
作業。26日は圧力釜で煮た大豆と塩、糍を
混ぜ、仕上げました。密閉型の袋に入れた
味噌はこれから半年間皆さんのもとの熟成
されます。男性も多かったこの講座。受講
生の男性に感想を寄せていただきました。

味噌作り講座に参加して

受講生 藤原 隆さん

昨年参加した干柿としめ縄作り体験がと
ても興味深く楽しかったので、今回の味噌
作り講座にも申し込ませていただきました。
参加者は男性四名を含む総勢十六名。一
日目は糍づくり。蒸米に種糍を混ぜ込む作
業を皆でワイワイガヤガヤと賑やかに行っ
た後、それを布団に包んで寝かす様子を拝
見。

二日目は、ふっくら煮上げた大豆をすり潰
し、それに糍を練り込んで味噌を仕込むと



蒸し上がった米を人肌で冷まします



糍菌を数日発酵させます

ころまでを体験。作業の合間には、「くる
み餅」をご馳走になりながら田原のお話を
あれこれお聞きして、ほっこりさせてもら
いました。

今回の講座は、毎日食べているお味噌が、
実はこんなふうにお米と大豆から作られて
いくのかと実感できて、良い経験になりま
した。他の参加者の皆さんも熱心にメモを
取ったり、講師に質問したり、はたまた参
加者同士で田原の見所情報の交換をしたり
と、とても楽しんでいらっしやるように見
受けられました。

公民館の皆様、作業の指導や下準備をし
て下さった「ぶるるん会」の皆様、本当に
楽しかったです。どうもありがとうございました。



ひと晩水につけた大豆を
圧力釜で煮ます



最後の仕上げ作業です

奈良市生涯学習財団
火に親しみ火を学ぶ！親子で飯ごう炊飯

火の怖さ、火の楽しさ、火の暖
かさを親子で体験しましょう。
薪割りの後、飯ごう炊飯とボー
ドゲームで過ごします。

日時 3月25日(土)
午前10時～15時
会場 田原公民館と周辺
対象 親子(田原幼小中)
参加費 無料
持ち物 米一人一合、軍手
あれば自宅で作った漬け物
ベ切り 3月18日
問合せ 田原公民館 81-0888
★お父さん、
おじいちゃん大歓迎です♪



春はすぐそこです。



こんにちは。地域おこし協力隊の瀬戸山です。

2015年9月からこの田原公民館報で連載させていただいたこのコーナー。今回が最終回となります。

連載を通じて、「読んでるよ」「がんばってるね」と声をかけていただくとともに多く励みになりました。

拙い文章で、見苦しい点多々あったかと思ひます。田原の皆様におひとりでも多く「地域おこし協力隊」という者たちがいる、ということを知っていただけたら。そう願って書いていました。



ありがとうございました

昨年、長谷町の庚申講の取材に行かせていただき、内容を公民館報に書いたことがありました。

「よう書いてくれた」と喜んでくださった方、「同じ田原に住んでるけど、全然知らなかった」と言ってくくださった方。うれしかったです。自分の書いたもので誰かが喜んでくれるんだ、と実感できました。

取材にひとりで出かけていってもあたたかく受け入れ、そして連載を読んでくださった地域の方、貴重な紙面を提供してくださっていた田原公民館さん、多くの方々のおかげで19回の連載を続けることができました。本当にありがとうございました。

私自身も田原のいろいろな所に出かけることで、地域の皆様に知らないことをたくさん教えてもらいました。知らなかったことが自分の知識になっていく経験が本当に面白かったですし、刺激になりました。

これで連載は終了しますが、地域おこし協力隊の活動は8月まで続きます。また、田原公民館さんの手伝いなどでお邪魔することもあるかもしれません。顔を見たり、田原のどこかで見かけたらおしゃべりしていただけたらと思います。

最後になりましたが、これからも地域おこし協力隊を宜しくお願い致します。（念のため、まだ田原にはいますからね）

皆さんからの情報求ム！
写真の場所を探しています。

月ヶ瀬では今年も梅まつりが始まりました。梅の木は花も実も楽しませてくれます。

左の写真は茶畑の中に咲き誇る二本の梅の木です。田原の美しい風景写真を撮影された趣味の写真家の方が写されたものです。他にもある素晴らしい写真と共に公民館や田原地区の紹介ビデオに使用させてもらっています。

先日、味噌作りの講座を受講された方がスライドに映ったこの写真をとても気に入られ、どうしてもこの場所に行つて同じように撮影したいと話されていました。咲き乱れる紅梅を観て、時期的にそろそろ撮れるところかと何度か足を運んでおられたのですが、どうしてもこの場所が見つけられない様子。公民館から撮影された方に確認の電話をするとなんと10年以上前に撮影されたものだったとのこと。記憶では矢田原町あたりだったのですが、矢田原の茶山をいくつか巡ってみても、それらしいところは確認できませんでした。

そこで田原の皆さんに伺います。茶山の角度と梅の木の並びを見てこの場所だと思われるところがあれば是非公民館までお知らせください。よろしく願います。



3月の公民館行事とその他のお知らせ

- 11日（土）第10回 TAWARAキッズ 9：30～12：30
- 11日（土）「公民館って、どんなところ？」奈良市中部公民館於 14：00～16：00
- 12日（日）おんだ祭 天満神社於 10：00～
- 14日（火）田原幼稚園卒園式8：45～ 閉園式11：00～
- 15日（水）田原小中学校卒業式 9：10～
- 25日（土）「火に親しみ 火を学ぶ！親子で飯ごう炊飯」 10：00～15：00

28年度が終了する3月になりました。地域の皆様には公民館事業に熱いご声援をいただき、無事遂行することができました。29年度もよろしくお願いいたします。



私の名前は「コッコちゃん」に決まりました。投票総数は72票、ありがとうございました。

さて、酉の一年間、公民館の玄関で皆様をお迎えしますのでよろしくお願いいたします。そして皆様のお役に立つ「明日の天気予報」や「公民館からのお知らせ」を私のお仕事にして頑張つてやっていきます。応援してくださいね。

姓：Koke 名：コッコちゃん
住所：奈良市田原公民館
特技：koke家伝承の羽根で分かる「天気予報」となき声
身長：84cm 体重：8kg
尾の長さ：140cm（2月現在）
夢：尾をどんどん長くして、夏頃には家族が欲しいです。

